



Sun StorEdge™ 6320 システム 1.0 ご使用にあたって

Sun Microsystems, Inc.
4150 Network Circle
Santa Clara, CA 95054
U.S.A.

Part No. 817-2249-11
2003 年 8 月, Revision A

コメントの宛先: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2003 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします)は、本書に記述されている製品に採用されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents>に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付随する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品のの一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人 日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, AnswerBook2, docs.sun.com, Sun StorEdge, Ultra, Sun Blade, Sun Enterprise, および Sun Fire は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サンのロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPENLOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインターフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

Use, duplication, or disclosure by the U.S. Government is subject to restrictions set forth in the Sun Microsystems, Inc. license agreements and as provided in DFARS 227.7202-1(a) and 227.7202-3(a) (1995), DFARS 252.227-7013(c)(1)(ii) (Oct. 1998), FAR 12.212(a) (1995), FAR 52.227-19, or FAR 52.227-14 (ALT III), as applicable.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植のある可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典: Sun StorEdge 6320 System 1.0 Release Notes
Part No: 816-7880-12
Revision A



Adobe PostScript

Sun StorEdge 6320 システム 1.0 ご使用にあたって

Sun StorEdge™ 6320 システムは、ストレージソリューションとしての、完全構成済み記憶装置システムです。

この文書の主な節の見出しは以下のとおりです。

- 1 ページの「今回のリリースの機能と特長」
- 2 ページの「製品の変更点」
- 7 ページの「システム要件」
- 11 ページの「既知の注意事項と問題点」
- 24 ページの「関連マニュアル」
- 26 ページの「サービスに関する問い合わせ先」

今回のリリースの機能と特長

Sun StorEdge 6320 システムは、次の機能を提供します。

- 36/73/146 G バイトの双方向、デュアルポートの FC-AL (Fibre Channel-Arbitrated Loop) ディスクドライブをサポート
- Sun StorEdge Remote Response (SSRR) 機能 - フォンホーム (phone-home) による遠隔監視、サポート機能を提供します。
- 内蔵 Storage Service Processor - 以下の機能があります。
 - Sun StorEdge 6020 アレイの構成
 - ファームウェアおよびソフトウェアシステムのアップグレード用プラットフォーム
 - Sun StorEdge 6320 システム内のコンポーネントの連続監視 (SSRR ソフトウェアを使用)

- 問題の原因を究明する診断ツール
- 基本の Sun StorEdge 拡張キャビネットに 最高 10 台の Sun StorEdge 6020 アレイを収容可能
- 基本キャビネットと 2 台目の Sun StorEdge 拡張キャビネットで最高 22 台の Sun StorEdge 6020 アレイ (トレイ) を収容可能
- Sun StorEdge 6020 アレイ - 各アレイは RAID 5 ストレージプール 1 つと予備ホットスペア 1 つで構成されています。
- インストール、構成、サポートサービス (オプションで提供)
- 遠隔電源サイクルと再起動 - 記憶装置システム全体を確実に電源投入 / 切断できます。
- 記憶装置統合モデルのための論理装置番号 (LUN) によるセキュリティアクセス
- あらゆる現場交換可能ユニット (FRU) をホットスワップ可能
- クラスタおよび独立したホスト接続の同時サポート

製品の変更点

ここでは、マニュアルに記載されていない今回の製品の変更点を説明します。

- 2 ページの「アレイの構成に関する変更点」
- 6 ページの「Thin スクリプトクライアント」

アレイの構成に関する変更点

Sun StorEdge Configuration Service ソフトウェアでは、グラフィカルユーザーインターフェイス (GUI) 形式のウィザードを使用して既存のアレイの構成に対する拡張ユニット (コントローラカードを装備していないトレイ) の追加および削除を行うことができます。アレイの構成に対する以下の変更を行うことができます。

- 既存の 2 × 2 または 2 × 4 HA 構成に対する拡張ユニットの追加
- 既存の 2 × 4 または 2 × 6 HA 構成からの拡張ユニットの削除

注 - 管理ソフトウェアを使用してアレイの構成を変更する場合は、必ず事前にマスターコントローラユニットがトレイ 0 になっていることを確認してください。マスターコントローラがフェイルオーバーすると、代替マスターコントローラユニットがマスターコントローラユニットのステータスを受け継ぎます。この場合、マスターコントローラユニットのトレイ番号は更新されて、代替マスターコントローラユニットのトレイ番号になります。アレイの構成およびトレイの番号を元に戻すには、アレイのコントローラをリセットする必要があります。

図 1 は、HA 構成と、Sun StorEdge Configuration Service ソフトウェアにおける対応するトレイ番号を示しています。

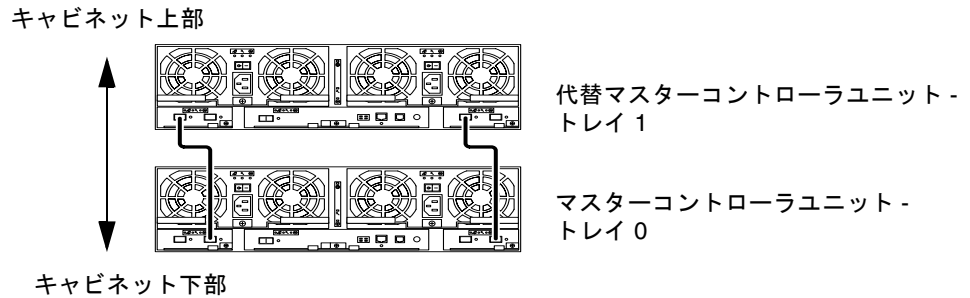


図 1 2 × 2 HA 構成と対応するトレイ番号

図 2 は、Sun StorEdge 6020 アレイの 2 × 4 HA 構成と対応するトレイ番号を示しています。

キャビネット上部

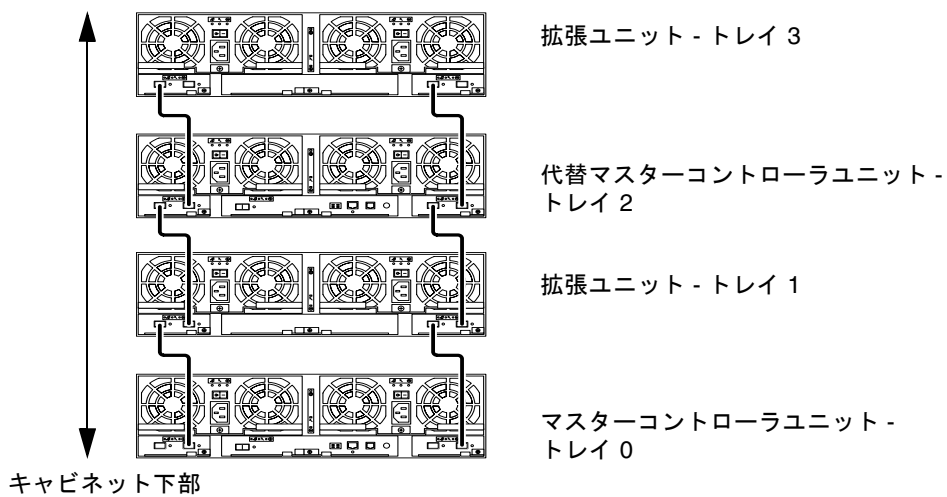


図 2 2 × 4 HA 構成と対応するトレイ番号

図 3 は、Sun StorEdge 6020 アレイの 2 × 6 HA 構成と対応するトレイ番号を示しています。

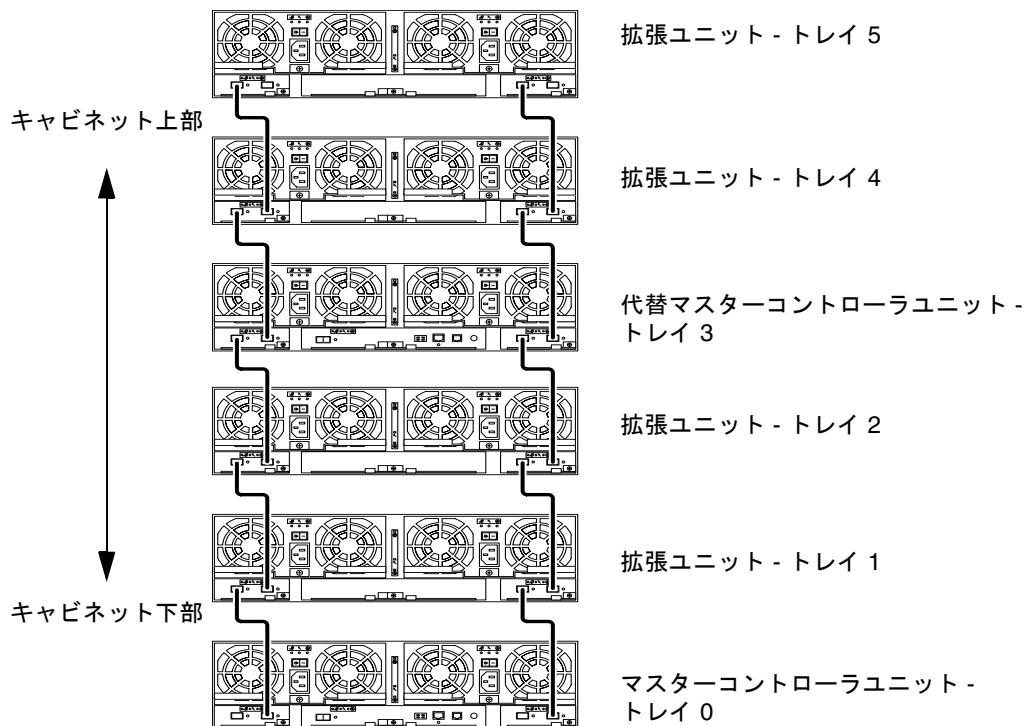


図 3 2 × 6 HA 構成と対応するトレイ番号

▼ 拡張ユニットの追加 / 削除のオンラインヘルプを表示する

拡張ユニットの追加および削除方法のオンラインヘルプがあり、以下の手順でアクセスできます。

1. Sun StorEdge Configuration Service のブラウザでオンラインヘルプのリンクをクリックします。
2. 「システムの管理」 → 「アレイの詳細とトレイの再構成」に移動します。
3. 説明を見るには、以下のいずれかの適切なオプションを選択します。
 - アレイに拡張ユニットを追加する
 - アレイから拡張ユニットを取り外す

Thin スクリプトクライアント

Solaris オペレーティング環境および他のホストの thin スクリプトクライアントが用意されています。thin スクリプトクライアントは、Sun StorEdge 6320 システムおよび管理機能に利用するためのコマンド行インタフェース (CLI) を提供します。このクライアントは以下からダウンロードできます。

<http://www.sun.com/>

以下のいずれかの方法を使用して、スクリプトクライアントファイルのあるサイトに移動できます。

▼ Sun Download Center からクライアントを取り込む

1. <http://www.sun.com> ホームページで「Downloads」をクリックします。
2. 「Browse downloading by Category」の「System Administration」をクリックします。
3. 「Storage Management」の「Sun StorEdge 6320 System Software」をクリックします。
4. 顧客ユーザー名とパスワードを使用してログインします。
5. 使用しているオペレーティングシステム用のファイルをダウンロードします。

たとえば Linux オペレーティングシステム用のファイルは以下のようになります。

- linux_se6x20.tar
- linux_README.txt

README ファイルには、クライアントのインストール方法が記載されています。

▼ Sun Storage サイトからクライアントを取り込む

1. <http://www.sun.com> ホームページで「Product & Services」をクリックします。
2. 「Browse Products」の「Storage」をクリックします。
3. 「Hardware Storage」の「Midrange Storage」をクリックします。
4. 「Midrange Storage」の「Sun StorEdge 6000 Family」をクリックします。
5. 「Sun StorEdge 6000 Family」の「Sun StorEdge 6300 Series」をクリックします。
6. 「Sun StorEdge 6300 Series」の「Sun StorEdge 6320 Series」をクリックします。
7. 「Software Download」の「Sun Storage 6000 Family Storage Products」をクリックします。
8. 顧客ユーザー名とパスワードを使用してログインします。

9. 使用しているオペレーティングシステム用のファイルをダウンロードします。

たとえば Linux オペレーティングシステム用のファイルは以下のようになります。

- linux_se6x20.tar
- linux_README.txt

README ファイルには、クライアントのインストール方法が記載されています。

システム要件

Sun StorEdge 6320 システムハードウェアおよびソフトウェアのプラットフォーム要件と、他のサポートされているソフトウェアについては、『Sun StorEdge 6120 アレイ設置マニュアル』に詳しい説明があります。ここでは、今回のリリースに必要な追加のソフトウェアパッチとパッケージを示します。

パッケージ

Sun StorEdge 6320 システム管理ホストまたはアレイに接続されているすべてのネットワークホストに以下のパッケージをインストールする必要があります。

- Sun StorEdge 6000 ファミリー用ホストインストールソフトウェア (製品の CD にも収録)
- VERITAS アレイサポートライブラリ (VERITAS Volume Manger でアレイをサポートする場合にのみ必要)

注 - パッチをインストールする前にパッケージをインストールしておいてください。

▼ パッケージをダウンロードする

1. Web ブラウザで以下に移動します。

<http://www.sun.com/download>

2. 「Browse All Products」の「View All」をクリックします。
3. Sun StorEdge 6320 システムの名前をクリックします。
4. サイトの指示にしたがって必要なパッケージをダウンロードします。

▼ パッケージをインストールする

- pkgadd(1M) コマンドを使用して、Sun StorEdge 6320 システムのパッケージをインストールします。

詳細は、パッケージの README ファイルをご覧ください。

データホストパッチ

表 1 は、アレイに最低限必要なパッチの一覧です。データホストにこれらのパッチをインストールする必要があります。

表 1 パッチ

| プラットフォーム | パッチ番号 | パッチの説明 |
|------------------------------------|---------------------------|---|
| Solaris 9 オペレーティングシステム、初回リリース以降 | Web サイトを参照 | Sun StorEdge SAN Foundation 4.2 ソフトウェア : パッチおよび製品情報については、 http://www.sun.com/storage/san にある『Sun StorEdge SAN Foundation 4.2 Installation Guide』を参照。 |
| | 112392-04 以降 113698-02 | VERITAS VxVM 3.5 一般パッチ* VERITAS VxVM 3.5 補助パッチ* <ul style="list-style-type: none">• VERITAS VxVM のパッチは、上記で示している順にインストールする必要があります。• -05 などの、112392 パッチの新しいバージョンをインストールする場合、補助パッチ (113698-02) は必要ありません。 |
| Solaris 8 オペレーティングシステム、アップデート 4 以降 | Web サイトを参照 | Sun StorEdge SAN Foundation 4.2 ソフトウェア : パッチおよび製品情報については、 http://www.sun.com/storage/san にある『Sun StorEdge SAN Foundation 4.2 Installation Guide』を参照。 |
| | 112392-04 以降 113698-02 | VERITAS VxVM 3.5 一般パッチ VERITAS VxVM 3.5 補助パッチ* <ul style="list-style-type: none">• VERITAS VxVM のパッチは、上記で示している順にインストールする必要があります。• -05 などの、112392 パッチの新しいバージョンをインストールする場合、補助パッチ (113698-02) は必要ありません。 |
| Microsoft Windows NT オペレーティングシステム | Microsoft から入手可能 | Microsoft Windows NT Service Pack (SP) 6A Sun StorEdge Traffic Manager 3.0 NT |

表 1 パッチ (続き)

| プラットフォーム | パッチ番号 | パッチの説明 |
|---|------------------------|--|
| Microsoft Windows 2000 Server and Advanced Server | Microsoft から入手可能 | Microsoft Windows 2000 Service Pack (SP) 3 Sun StorEdge Traffic Manager 3.0 Win2K |
| IBM AIX 4.3.3 | IBM から入手可能 | ML 10 Sun StorEdge Traffic Manager 3.0 AIX |
| IBM AIX 5.1 32 および 64 ビット | IBM から入手可能 | ML 03 Sun StorEdge Traffic Manager 3.0 AIX |
| HP-UX 11.00 および 11.i | Hewlett-Packard から入手可能 | 2002 年 9 月のパッチセット Sun StorEdge Traffic Manager 3.0 HP-UX |
| Red Hat Linux 7.2 (単一パスサポートのみ) | Red Hat Linux から入手可能 | バージョン 2.4.7-10 |

* アレイで VERITAS Volume Manager を実行するシステムにのみ必要。

▼ パッチをダウンロードする

1. <http://www.sunsolve.sun.com> に移動します。
2. 表 1 に示されているパッチをすべてダウンロードします。
サイトで「Patch Pro」→「Network Storage Products」のリンクからパッチを入手できます。

▼ パッチをインストールする

注 - パッチをインストールする前にパッケージをインストールしておいてください。

- `patchadd(1M)` コマンドを使用して、表 1 に示すパッチをインストールします。
パッチ情報の詳細は、パッチの README ファイルをご覧ください。

新しい基本パッチのリリース

Sun StorEdge™ 6320 の新しい基本パッチが使用可能になりました。

StorADE パッチ : 114591-11 および 115704-01

このパッチをダウンロードし、「patchadd」ユーティリティを使用して、ホストにインストールすることができます。パッチは以下のサイトで入手できます。

<http://sunsolve.sun.com>

追加の情報については『Storage Automated Diagnostics Environment 2.2 User's Guide』(817-0192)を参照してください。

最新の基本パッチを適用してシステムをアップデートする手順は、次のとおりです。

1. パッチをダウンロードするために、Storage Automated Diagnostics Environment (StorADE) の GUI への Telnet セッションを確立します。たとえば、次のように入力します。

```
https://[host_name]:7443
Login: storage
Password: !storage
```

2. 次の操作を行って、新しいシステムの目録処理のスナップショットを作成します。
 - a. 「ストレージ管理」を選択して「サービス」の「インベントリ管理」を選択し、「新しいインベントリの生成」をクリックします。これによって、更新システムの目録処理リストが生成されます。
 - b. 「インベントリの保存」をクリックします。
3. システムのバージョンを確認します。
 - a. 「ストレージ管理」を選択して「サービス」の「バージョン管理」を選択し、「パッチレポートの作成」をクリックします。
 - c. 「パッチを選択」をクリックします。利用可能なパッチのリストが表示されます。
 - d. アップデートするデバイスをクリックして、「選択したパッチを適用」をクリックします。Patch Installation Report により、適用された変更がログとして生成されます。
4. 手順 3 を再実行します。

パッチ 113193-01 は、他のすべてのパッチへの必要条件として必ずインストールします。手順 3 を再実行し、システムに必要な、次に挙げる例を含むパッチがすべてインストールされるようにします。

StorADE パッチ : 114591-11 および 115704-01

L10n パッチ : 114960-01

必要な Sun StorEdge 6320 用の各言語対応版のパッチは、114960-01 です。このパッチは、フランス語、日本語、簡体字中国語をサポートしています。

既知の注意事項と問題点

以下の節では、今回の製品リリースに関する既知の注意事項と問題点 (バグ) を説明します。

- 11 ページの「既知の注意事項」
- 15 ページの「問題点 (バグ)」

既知の注意事項

この節では、サンのバグ ID で分類できない、製品に関する既知の注意事項をまとめています。この節では、以下のトピックを取り上げています。

- 11 ページの「全般的な注意事項」
- 12 ページの「Sun StorEdge Configuration Service に関する注意事項」
- 13 ページの「マニュアルに関する注意事項」
- 14 ページの「マルチプラットフォームに関する注意事項」

全般的な注意事項

ここでは、Sun StorEdge 6320 シリーズの 1.0 リリースに関する全般的な注意事項をまとめています。

- Sun StorEdge Remote Response/Point-to-Point Protocol インタフェースを介した SSH (Secure shell) をサポートしていますが、顧客 LAN の SSH 接続は行えません。
- インターネットに接続し、サンの外部パッチ配布サーバーにアクセスする場合には、プロキシのユーザー名とパスワードを必要とする認証済みのプロキシサーバーを使用することはできません。

待機電源モードの再起動

Sun StorEdge 6120 または Sun StorEdge 6320 システムアレイを、待機モードに切り替え、かつ電源冷却ユニットのスイッチを物理的に切断しない場合は、アレイが自身で再起動する場合があります。

次のうちどれかの方法を取ると、Sun StorEdge 6320 システムアレイは待機モードになります。

- `shutdown -y` コマンド
- 次の Sun StorEdge Configuration Service ソフトウェアのコマンド
 - `sscs modify power down` (部分的なシャットダウン)

- `sscs modify power off` (完全なシャットダウン)
- `sscs modify -a` アレイ名 `arraypower off` (特定のアレイのシャットダウン)
- ユーザーインタフェース再構成ウィザード

通常は、アレイのトレイは再起動せず、再起動する可能性は低いのですが、電力供給スイッチラインでの極端な電気の「ノイズ」によってこれが起こることがあります。こうした状態でデータが利用可能なままになっていることは安全なことではありません。

回避策: `shutdown -y` コマンドか **Sun StorEdge Configuration Service** ソフトウェアのコマンドを使用して遠隔操作を行ったときは、電源冷却ユニットの電源スイッチを物理的に切断します。

適切なシャットダウンの手順と遠隔操作での電源シャットダウンについての情報は、次のマニュアルを参照してください。

- Sun StorEdge 6020 および 6120 アレイシステムマニュアル (817-0200)
- Sun StorEdge 6120 アレイ設置マニュアル (817-0199)
- Sun StorEdge 6320 システム 1.0 設置マニュアル (816-7878)

StorADE の更新による接続の中断

StorADE パッチをインストールした後に、アプリケーションは、変更を有効にするために自動的に再起動します。この少しの間 StorADE の GUI にはアクセスできません。このため、接続を再度確立するために、StorADE 画面を再表示する必要があります。

Sun StorEdge Configuration Service に関する注意事項

- Netscape バージョン 4.79 に関する注意事項が 1 つあります。ブラウザの最上部のバーをダブルクリックしたり、ウィンドウのサイズを変更したりすると、画面のコンテキストが失われます。その場合は、ウィンドウのメニューから「再読み込み」を選択してください。
- Sun StorEdge 6320 システムは、ブラウザを使った GUI インタフェース、またはコマンド行インタフェースを提供するネイティブホストの **thin** スクリプトクライアントのどちらを使用しても管理できます。**thin** スクリプトクライアントを使用するには、顧客 LAN 上のサポートされているホストシステムにホスト用の **Sun StorEdge Configuration Service CD-ROM** の内容をインストールする必要があります。
- バージョン 4.x 以前の Netscape などの、HTTP 1.0 に基づく古い世代の Web ブラウザを使用して Sun StorEdge 6320 システムを管理すると、大規模な Sun StorEdge 6320 システムの構成では、ブラウザからタイムアウトが返される可能性があります。大規模な構成では、容量の計算に時間を要するため、古いブラウザの場合は、計算が完了する前にタイムアウトが発生します。その場合は、ブラウザのページを再読み込みして、システムの運用を続けてください。

このことが問題になる場合は、HTTP 1.1 をサポートするバージョン (Netscape 6 以降) にブラウザをアップデートしてください。この問題の影響があるのはブラウザによる管理の場合だけで、thin スクリプトクライアントを使用した Sun StorEdge Configuration Service コマンド行からの管理には影響しません。

マニュアルに関する注意事項

- 各言語対応版でオンラインヘルプの索引と検索機能が正しく動作しません。
- マニュアルに説明のないコマンドが、いくつか Sun StorEdge Configuration Service に追加されています。そのコマンドは以下のとおりです。

- アレイのステータスの一覧表示

sscs list arraypower コマンドは、アレイのステータス情報を表示します。このコマンドのコマンド行構文は以下のとおりです。

```
# sscs list -a アレイ名 arraypower
```

表 2 は、list arraypower サブコマンドの引数を示しています。

表 2 sscs list arraypower コマンド行の引数

| 引数 | 説明 |
|------------------|----------------------------|
| -a, --array アレイ名 | 最大 40 文字で アレイ名 を指定。 |

- アレイの電源の変更

sscs modify arraypower コマンドは、個別アレイの電源を変更します。このコマンドのコマンド行構文は以下のとおりです。

```
# sscs modify -a アレイ名 arraypower { off | restart | rad }
```

表 3 は、modify arraypower サブコマンドの引数を示しています。

表 3 sscs modify arraypower コマンド行の引数

| 引数 | 説明 |
|------------------|---|
| -a, --array アレイ名 | 最大 40 文字で アレイ名 を指定。 |
| arraypower 値 | 値 は off (アレイの停止)、restart (アレイの再起動)、rad (アレイのデフォルト値の復元) のいずれか。 |

- トレイの変更

sscs modify tray コマンドは、コントローラを使用可能 / 使用不可にするか構成解除します。このコマンドのコマンド行構文は以下のとおりです。

```
# sscs modify -a アレイ名 -d トレイ名
```

表 4 は、modify tray サブコマンドの引数を示しています。

表 4 sscs modify tray コマンド行の引数

| 引数 | 説明 |
|------------------------|----------------------------|
| -a, --array アレイ名 | 最大 40 文字で アレイ名 を指定。 |
| -u, --unconfigure トレイ名 | トレイの構成解除。 |
| -d, --disable トレイ名 | トレイを使用不可にする。 |
| -d, --enable トレイ名 | トレイを使用可能にする |

マルチプラットフォームに関する注意事項

- Qlogic のホストバスアダプタ (HBA) には、ホスト専用のフラッシュコードが必要です。ファイバチャネルデバイスによってホストプラットフォームの動作が異なるため、サンがサポートする Qlogic HBA でフラッシュイメージの更新が必要になることがあります。その場合、必要なフラッシュイメージはプラットフォームの種類によって異なります。表 5 は、対応プラットフォーム別に必要とされるフラッシュイメージを示しています。

表 5 プラットフォーム別の Qlogic フラッシュイメージ

| プラットフォーム | フラッシュイメージ | HBA デバイスドライバ |
|----------------------------|----------------------|---------------|
| qlc + Win 2K | Qlogic x86 フラッシュイメージ | サンがサポートするドライバ |
| qlc + Win NT | Qlogic x86 フラッシュイメージ | サンがサポートするドライバ |
| qlc + Solaris SPARC ホスト | サン提供の Qlogic HBA | - |
| qlc + Linux | Qlogic x86 フラッシュイメージ | Red Hat 7.2 |

ご使用のオペレーティングシステムでフラッシュイメージの更新が必要な場合は、更新フラッシュイメージの入手に関する詳細情報をサンから入手してください。

問題点 (バグ)

ここでは、Sun StorEdge 6320 システムと関係するソフトウェアおよびハードウェアの、優先順位の高い問題点を主としてまとめています。バグ ID 番号に続く括弧で囲って優先順位と重要度を示します。

この節は以下のカテゴリに分類しています。

- 15 ページの「VERITAS に関する問題点」
- 15 ページの「Sun StorEdge SAN Foundation ソフトウェアに関する問題点」
- 16 ページの「マルチプラットフォームに関する問題点」
- 17 ページの「Sun StorEdge Configuration Service の問題点」
- 19 ページの「Sun StorEdge 6020 アレイの問題点」
- 23 ページの「Sun StorEdge SAM-FS ソフトウェアの問題点」
- 23 ページの「Storage Automated Diagnostic Environment ソフトウェアの問題点」

VERITAS に関する問題点

- **バグ 4800446 (P3/S4):** vxinstall(1M) が一部ボリュームのパーティション分割に失敗することがあります。非常にまれにですが、Volume Manager 3.5 の vxinstall コマンドが Sun StorEdge 6020 アレイのボリュームのパーティション分割に失敗することがあります。

回避策: 新しい vxinstall コマンドを実行して、失敗したボリュームのパーティション分割を行ってください。

もう一つの回避策として、次の Volume Manager コマンドを使用する方法もあります。このコマンドは、特定のデバイスだけパーティション分割します。

```
# /etc/vx/bin/vxdisksetup -i cntndn
```

Sun StorEdge SAN Foundation ソフトウェアに関する問題点

- **バグ 4820203 (P3/S3):** 構成済みのボリュームが大量になると、ブート時間の遅延が長くなり、構成の失敗が発生することがあります。場合によっては、起動スクリプトの VERITAS ボリュームのマウント中に Volume Manager が一部 LUN にアクセスできなくなり、ボリュームが使用不可になることがあります。この問題は、アレイボリュームへのパスの 1 つが standby (待機) モードの場合に発生します。

回避策: /etc/rcS.d/S85vxvmstartup2 スクリプトの先頭に、LUN 1 つあたりのスリープ遅延として 8 秒を追加してください。

- **バグ 4816283 (P3/S3): Sun StorEdge 6020** アレイが `fc_topology auto` モードの場合に、ファイバチャネルスイッチの設定と同期が取れなくなることがあります。
回避策: Sun StorEdge 6020 アレイでは、`sys fc_topology auto` 設定を使わないでください。ホストに直接接続されているアレイの場合は `fc_topology` を `loop` に、アレイをスイッチに接続している場合は `fabric_p2p` に設定してください。
- **バグ 4844391 (P4/S3) およびバグ 4841099 (P4/S4):** アレイの `fc_topology` モードが `auto` に設定されている場合、Sun StorEdge 6120 アレイに直接接続されているホストから DR アタッチまたはホットプラグ操作を行うと、ホストがアレイの構成に失敗します。
回避策: Sun StorEdge 6020 アレイをホストに直接接続している構成の場合は、`sys fc_topology loop` コマンドを使用して、ループモードに変更してください。

マルチプラットフォームに関する問題点

この項は、以下のように構成されています。

- 16 ページの「Microsoft Windows NT, Microsoft Windows 2000 プラットフォーム」
- 17 ページの「IBM AIX プラットフォーム」

Microsoft Windows NT, Microsoft Windows 2000 プラットフォーム

- **バグ 4811507 (P4/S3):** フェイルオーバー中に Sun StorEdge Traffic Manager のマルチパス GUI が起動されると、GUI によってフェイルオーバーデバイスの情報が表示されません。この問題は、フェイルオーバー中、デバイスがアクティブで正しく機能しているときでも Microsoft Windows NT 4.0 オペレーティング環境で発生します。
回避策: システム上のすべてのデバイスの正確な表示を得るには、フェイルオーバーの完了後にマルチパス GUI を再起動してください。フェイルオーバーデバイスが正しく表示されます。
- **バグ 4816964 (P4/S2):** Microsoft Windows 2000 のマルチパス管理 GUI 機能で、特定の HBA へのすべてのパスを使用不可にできるようになっています。HBA へのすべてのパスを使用不可にすることはサポートされていないことを示す GUI 警告がユーザーに出されますが、土台のドライバがユーザーの要求を処理し、すべてのパスが使用不可になることがあります。特定の記憶装置へのすべてのパスが失われることによって、オペレーティングシステム環境が不安定になる可能性があります。特定の Sun StorEdge 6020 アレイへの両方のパスが使用不可になっている場合、Windows 2000 システムは動かなくなります。

回避策：Sun StorEdge 6020 アレイに接続されている両方の HBA へのすべてのバスを同時に使用不可にしないでください。構成からアレイを削除するには、Windows のインストールウィザードを使用して、接続されている HBA をまず使用不可にします。

IBM AIX プラットフォーム

- **バグ 4815527 (P1/S2) およびバグ 4743016 (4/2)**: `cfgmgr` ユーティリティを使用して構成にサンの記憶装置を追加している AIX 環境で AIX ホストシステムが動かなくなることがあります。サンはこの問題の原因が AIX ホスト側にあることを特定し、追跡 ID PMR 04186-004 で IBM に報告しています。詳細情報を入手次第、報告する予定です。
- **バグ 4814660 (P2/S3)**: IBM AIX 5.1 で、ディスクデバイス名が正しく表示されないという、マルチバスドライバ管理 GUI の既知の問題があります。この問題は、このプラットフォーム環境だけの問題と思われる。

回避策：解決中です。詳細は、サンにお問い合わせください。

Sun StorEdge Configuration Service の問題点

- **バグ 4863467 (P2/S2)**: Sun StorEdge Configuration Service のウィザードを使用してストレージアレイの拡張トレイを追加または削除する際、必要な拡張トレイを物理的に取り外すか追加するようウィザードから指示が出されます。その場合は、ウィザードの「次へ」ボタンをクリックする前に、その時点で、新たに構成したストレージアレイのケーブルを接続し直して電源を入れることによって、ストレージアレイが完全起動できるようにしてください。新しく構成したストレージアレイが完全に起動する前に次の画面に進むと、ストレージアレイと通信できないために、ウィザードがタイムアウトになる可能性があります。タイムアウトが発生するという事は、ストレージアレイが Ethernet 接続で通信する準備ができていないことを意味します。

回避策：アレイが完全に起動する前にウィザードのタイムアウトが発生した場合は、ウィザードの「再試行」ボタンをクリックして、アレイとの通信を再度試みてください。ウィザードがストレージアレイと通信できない状態で再試行しなかった場合、最終的にウィザードがログオフします。トレイの追加中にウィザードがログオフし、かつ元の構成にストレージプールが存在していた場合、それらのプールはウィザードによって自動的にオンライン状態を解除されます。その場合は、アレイが完全に起動した後で、Sun StorEdge Configuration Service ツールを使用してストレージプールを手動でオンラインにする必要があります。

- **バグ 4854361 (P3/S2)**: Sun StorEdge Configuration Service を使用して、トレイの複製作成操作 (複数のトレイに一度にストレージプールを作成するなど) を行うと、その複製作成操作が最初のトレイにだけ作用して、その他のトレイに作用しないことがあります。そのとき、エラーメッセージやジョブの処理に失敗したことを示すメッセージも表示されない。

回避策：残りの各トレイに複製作成操作を繰り返してください。

- **バグ 4818658 (P3/S2):** `initgroup` 内のイニシエータによって、特定のアクセス権の許可されていないボリュームが検出されることがあります。権限のないイニシエータがそうしたボリュームを検出できることがありますが、そのイニシエータが特定のボリュームアクセス権を付与されていない限り、そうしたボリュームへのデータアクセス権が許可されることはありません。

回避策: 解決中です。詳細は、サンにお問い合わせください。

- **バグ 4825610 (P3/S3):** 複数のボリュームグループに 1 つのボリュームを追加するか、複数のイニシエータグループに 1 つのイニシエータを追加すると (またはその両方の操作)、意図していないホストアクセス権が付与されることがあります。たとえば複数のボリュームグループに同じボリュームを構成した後で、そのうちの 2 つのボリュームグループに対するアクセス権をイニシエータグループに付与すると、複数の種類のアクセス権が付与されることがあります。その後、イニシエータグループと 2 つのボリュームグループの一方の間の関連付けを解除すると、イニシエータグループとそのボリューム間のアクセスが誤って完全に削除されます。この状況は次の 2 つのケースでのみ発生します。
 - a. 同じボリュームを含む 2 つのボリュームグループに対するアクセス権が同じイニシエータグループに付与された。
 - b. 同じイニシエータを含む 2 つのイニシエータグループに対するアクセス権が同じボリュームグループに付与された。

回避策: この状況を回避するには、ボリュームグループにボリュームを追加する前に、そのボリュームが別のボリュームグループに所属していないことを確認してください。同様に、イニシエータグループにイニシエータを追加する前に、そのイニシエータが別のイニシエータグループに所属していないことを確認してください。ボリュームがすでに 2 つのボリュームグループに追加されている場合は、すべてのイニシエータからの、ボリュームを使用する入出力を休止し、両方のボリュームグループからボリュームを削除してから、適切なボリュームグループに目的のボリュームを追加し直してください。イニシエータがすでに 2 つのイニシエータグループに追加されている場合は、そのイニシエータからの入出力を休止し、両方のイニシエータグループからイニシエータを削除してから、適切なイニシエータグループに目的のイニシエータを追加し直してください。

- **バグ 4657035 (P3/S4):** アレイにストレージプールが構成されていない状態で、構成サービスの GUI を使用して **Sun StorEdge 6020** アレイを管理すると、アレイのコントローラが使用不可になることがあります。サンの工場出荷時の構成では、ストレージプールが事前に構成されます。このため、この問題は、アレイにストレージプールがない状態で他の管理作業を行った場合のみ発生します。

回避策: この問題を回避するには、ストレージアレイシステムに構成されている各 **Sun StorEdge 6320** システムにストレージプールが少なくとも 1 つ構成されていることを確認してください。アレイのコントローラは、**Sun StorEdge Configuration Service** の `sscs modify --enable -a array 00 tray 0` コマンドを使って再度使用可能にすることができます。

- **機能拡張強化依頼 (RFE) 4804942 Sun StorEdge 6320** システム環境で Sun StorEdge Configuration Service を使用すると、Storage Service Processor で発行したコマンドが処理待ちになります。Sun StorEdge 6320 システムエラー (Storage Service Processor の再起動など) が発生した場合、Sun StorEdge Configuration Service は内部キューの状態を維持しません。

回避策: そうした場合は、コマンドを再発行して GUI 操作を開始してください。

- **バグ 4863940 (P5/S5) Sun StorEdge Configuration Service** ソフトウェアの多言語対応版で、help.pdf ファイルへの「Adobe Acrobat の PDF 形式のヘルプ」リンクが使用できません。

回避策: 個々のセクション見出し別のオンラインヘルプを参照してください。help.pdf ファイルは、PDF 形式のオンラインヘルプファイルの総合版です。

Sun StorEdge 6020 アレイの問題点

- **バグ 4862463 (P1/S1):** 待機ドライブから新しいドライブへのデータの再構築が、アレイ上のグローバルな再構築回数設定に関係なく高い頻度 (**high**) で行われます。この場合、アレイが最短の時間で待機ドライブからのコピーバック操作を行うため、その間、ホストの入出力の待ち時間は長くなります。コピーバック操作が完了すると、ホストの入出力へのアレイの応答が通常のパフォーマンスレベルに戻ります。初めてのドライブ障害検出後の待機ディスクへのアレイ上のデータの再構築には、アレイ上に設定された再構築回数が正しく反映されます。

回避策: アレイの保守期間中のドライブ交換作業の予定を立てて、通常の運用中にアレイのパフォーマンスに影響がないようにしてください。

- **バグ 4840853 (P1/S3):** boot -w コマンドまたは Sun StorEdge Configuration Service ソフトウェアの同等の機能で、操作が打ち切られるアレイエラーが発生することがあります。boot -w 操作は、以下を使用するなどのいくつかの方法で行うことができます。

- Sun StorEdge Configuration Service のユーザーインターフェース (UI) で「拡張トレイの削除」機能を使用する。
- CLI で「アレイのデフォルト値の復元」を使用する。
- GUI の「アレイのデフォルト値の復元」ボタンを使用する。

上記の作業中、管理ソフトウェアが基の boot -w 操作の障害を検出することはできません。適切なアレイパスワードの情報がないため、そうした障害が発生した場合、管理ソフトウェアがアレイにアクセスしてフォローアップ操作を行うことはできません。

回避策: Sun StorEdge Configuration Service ソフトウェアを使用してトレイの削除を行っているときにこの種のエラーが発生した場合は、以下のことを行ってください。

1. 管理ソフトウェアアプリケーションからログアウトします。
2. Storage Automated Diagnostic Environment にログインします。

3. 「管理」 → 「Services」 → 「Configure Devices」 ページに移動します。
4. エラーが発生したアレイを構成解除します。
5. エラーが発生したアレイを再構成します。
6. 管理ソフトウェアアプリケーションを開いて、作業をやり直します。

この手順を行うことによって管理ソフトウェアアプリケーションがアレイのパスワードを再び記憶し、作業を完了できるようになります。

注 – Sun StorEdge Configuration Service ソフトウェアを使用してトレイの削除を開始するときは、事前にストレージアレイを再起動することによって、この問題が起きないようにすることができます。

- **バグ 4827533 (P2/S3):** 電源投入時セルフテストまたは内蔵セルフテスト (POST/BIST) ファームウェアによってハードウェアの問題が検出されたとき、オレンジ色の LED が点灯しません。アレイコントローラの起動中に POST または BIST ファームウェアによってハードウェアに致命的な問題が検出された場合、システムは問題のコントローラがオンラインにならないようにします。その場合、コントローラカード上のオレンジ色の LED (通常はハードウェアに問題があることを示す) は点灯しません。

回避策: 新しく挿入したコントローラカードが起動するのを待ってから、**Sun StorEdge Configuration Service** ソフトウェアを使用して状態を調べることによってコントローラカードが健全であることを確認してください。コントローラがオンラインにならない場合は、挿入したコントローラカードが不良の可能性があり、その場合は、交換する必要があります。

- **バグ 4812670 (P2/S4):** コントローラの障害によって青い LED が 1 つだけ点灯することがあります。コントローラの障害の場合は、青色の **Ready-to-Replace** (交換可能) LED とオレンジ色の **Fault Warning** (障害警告) LED の両方が点灯しなければなりません。にもかかわらず、青色の LED だけ点灯します。

回避策: コントローラカード FRU 上の青色の LED が点灯した場合は、コントローラカードの障害のこの通知ばかりでなく、コントローラが交換可能であることを示すステータスにも注意してください。その場合は、コントローラカードを速やかに交換してください。コントローラカードのステータスが不良であるかどうかを確認するには、**Sun StorEdge Configuration Service** のインタフェースを使用してステータスを調べます。

- **バグ 4808119 (P3/S1):** アレイのマスターコントローラから使用不可の代替マスターコントローラを再度使用可能にしたとき、代替マスターコントローラが起動を完了する前に、マスターコントローラによって使用不可にされることがあります。使用可能にされたコントローラが起動サイクルを完了していない場合、そのコントローラは入出力を受け付けません。このため、システムは、一方のコントローラがオンラインで、もう一方が使用不可という同じ状態のままになります。**Sun StorEdge 6020** アレイのオンラインでのファームウェアの更新中、代替マスターコントローラは使用不可にされ、再度使用可能にされます。マスターコント

ローラが代替マスターコントローラを再度使用可能にできない場合、オンラインのファームウェア更新は最後まで行われません。代替マスターコントローラをオンラインにするには、この処理を完了する必要があります。

回避策：コントローラがオンラインになっていないと思われる場合は、**Sun StorEdge Configuration Service (sscs(1M))** のコマンド行インタフェースで以下のようなコマンドを使用して、使用可能にすることができます。

```
# sscs modify --enable -a array00 tray 0
```

注 – このコマンドは、Sun StorEdge 6320 システムにある最初のストレージアレイ (array00) 内の一番下のトレイを使用可能にします。**Sun StorEdge Configuration Service** のコマンド行インタフェースを使用するには、管理対象の Sun StorEdge 6320 システムに Ethernet 接続されている LAN 上の管理ホストに **thin** スクリプトクライアントソフトウェアをインストールする必要があります。

- **バグ 4821680 (P3/S2):** ボリュームの追加または削除を試みているときにアレイのループ 2 が使用不可にされると、処理の完了までにかかなり長い時間 (約 15 分) がかかることがあります。

回避策：重ねてボリュームの変更を行う前にバックエンドループが使用不可になっている原因を解消してください。

- **バグ 4827709 (P3/S3):** Sun StorEdge 6020 アレイから物理的にドライブを取り外し、アレイに装着し直すと、ドライブのボリューム再構築が完了するまで、ドライブのステータスが **missing** (なし) と報告されます。この問題は、アレイの構成に待機ドライブがある場合にのみ発生します。

回避策：ボリューム再構築が完了してから、ドライブの状態を確認してください。

- **バグ 4835912 (P3/S3):** アレイのシステム日付は **Storage Service Processor** のシステム日付と同期しています。このため、**Storage Service Processor** のシステム日付を 1 週間以上遅らせると、この問題が発生することがあります。

回避策：1 週間以上日付を遅らせた場合は、システムのすべての Sun StorEdge 6020 アレイを再起動する必要があります。

- **バグ 4857818 (P3/S3):** Sun StorEdge Configuration Service で端数を持つボリュームを作成できない。

回避策：ボリュームのサイズパラメータを設定するときに端数を使わずに正数を使用するか、ギガバイト値をメガバイト値 (× 1024) に変換し、メガバイト単位でスライスのサイズを指定してください。

- **バグ 4784375 (P3/S3):** Sun StorEdge 6020 アレイは最後にリセットされた日時を自動的に計算し、システム日付が変更されると、アレイが報告する最終再起動日時がその影響を受けます。アレイは、最終リセット日付を以下のように計算します。

システムの最終リセット日付 = 現在のシステム日付 - システムの稼働時間

この計算方法のため、現在のシステム日付が変更されると、システムの最終リセット日付で報告される値も変化します。

回避策: 回避策は必要ありません。

- **バグ 4831459 (P3/S3):** マスターコントローラユニットのマスターインターコネクトカード (u111) で問題が発生すると、アレイ内の使用不可のコントローラを使用可能にできなくなる。

回避策: コントローラカードの健全性が不良と報告された場合は、コントローラカードを交換してください。

- **バグ 4754382 (P3/S4):** GMT 以外の時間帯設定を使用している一部 Sun StorEdge 6020 アレイ構成で、代替マスターコントローラユニットの使用するタイムスタンプとマスターコントローラユニットのそれとが一致しないことがあります。

回避策: この問題は調査中です。アレイの syslog ファイル内のタイムスタンプの不一致とは別に、この問題を原因とする二次的な問題は判明していません。

- **バグ 4830120 (P3/S4):** キャッシュモードが auto (自動) に設定されていると、どの PCU の充電でも、キャッシュモードが writebehind (遅延書き込み) のままになります。電源供給がなくバッテリーが消耗して、キャッシュのデータがディスクにフラッシュされた場合、Sun StorEdge 6020 アレイは、AC 電源が回復すると内蔵バッテリーの充電を開始します。この場合、アレイは、キャッシュモードが auto に設定されているときでも誤ってキャッシュの状態を遅延書き込みのままにします。このため、バッテリーが十分に充電される前に 2 回目の停電が発生するとある程度の危険性が生じる可能性があります。

回避策: Sun StorEdge Configuration Service を使用して、すべてのアレイで、バッテリーの充電が完了するまでキャッシュモードを即時書き込みに設定してください。

- **バグ 4746269 (P4/S1):** まれに、ネットワーク経路の初期化段階の起動サイクル中に Sun StorEdge 6020 アレイが動かなくなることがあります。この問題は、起動サイクル中、アレイがまだオンラインになって、入出力を受け付けられる状態になっていない場合にのみ発生します。このため、ホストデータの入出力には影響ありません。

回避策: 動かなくなったアレイコントローラの電源を入れ直してください。起動中に Sun StorEdge 6020 アレイがハングアップした場合は、Storage Automated Diagnostic Environment からその報告があります。Sun StorEdge 6320 システムを起動した後、Storage Automated Diagnostic Environment ですべてのアレイの健全性を調べてください。

- **バグ 4810779 (P4/S3):** 起動処理中の syslog ファイル内の警告メッセージに誤ってフェイルオーバーと FRU 不良が示されます。FRU の障害もループの問題もない Sun StorEdge 6020 アレイが、syslog ファイルに次のようなメッセージを出力します。

```
Jan 30 12:03:02 ISR1 [1]: W: u2d01 SVD_PATH_FAILOVER: path_id = 0
Jan 30 12:03:02 ISR1 [1]: W: u2d02 SVD_PATH_FAILOVER: path_id = 0
Jan 30 12:03:02 ISR1 [1]: W: u2d04 SVD_PATH_FAILOVER: path_id = 0
Jan 30 12:03:02 ISR1 [1]: W: u2d05 SVD_PATH_FAILOVER: path_id = 0
Jan 30 12:03:02 ISR1 [1]: W: u2d07 SVD_PATH_FAILOVER: path_id = 0
Jan 30 12:03:02 ISR1 [1]: W: u2d08 SVD_PATH_FAILOVER: path_id = 0
Jan 30 12:03:02 ISR1 [1]: W: u2d10 SVD_PATH_FAILOVER: path_id = 0
Jan 30 12:03:02 ISR1 [1]: W: u2d11 SVD_PATH_FAILOVER: path_id = 0
Jan 30 12:03:02 ISR1 [1]: W: u2d13 SVD_PATH_FAILOVER: path_id = 0
Jan 30 12:03:03 ISR1 [1]: W: u2d14 SVD_PATH_FAILOVER: path_id = 0
```

この種の警告が生成されるのは、最適な性能を得られるよう起動中にアレイが自身を構成するときに、バックエンドの分割ループ構成プロセスが自動的に発生するためです。

回避策：起動サイクル中に発生した syslog ファイル内のこの種のメッセージは無視してかまいません。記録されるメッセージ数は構成の規模に依存することに注意してください。システム構成に存在するトレイが多いほど、起動時に再構成されるループ上のドライブ数が多くなり、syslog エントリ数も多くなります。

Sun StorEdge SAM-FS ソフトウェアの問題点

- **バグ 4838778 (P2/S1):** Sun StorEdge SAM-FS を使用しているときに二重パス障害が発生すると、ホストのパニックが発生することがあります。この問題は二重パス障害があった場合にだけ発生します。このため、単一パス障害がある場合は、速やかにその障害を取り除いて、完全な冗長構成が維持されるようにしてください。

Storage Automated Diagnostic Environment ソフトウェアの問題点

- **バグ 4864266 (P3/S3):** Sun StorEdge 6320 システムが、スーパーユーザーパスワードの異なる複数の Sun StorEdge 6020 アレイから構成されている場合は、デフォルト以外のパスワードを変更して、ストレージアレイに管理ソフトウェアがアクセスできるようにする必要があります (デフォルトのパスワードは sun1)。

回避策：Storage Automated Diagnostic Environment 内でパスワードを変更するには、デバイスの GUI ページで「管理」→「ユーティリティ」→「アレイのパスワード」の操作を行います。この画面ではまた、アレイの古いパスワードの入力も求められます。パスワード変更機能を実行すると、パスワードの変更が正常

に行われなかったと誤解させる可能性がある出力が生成されます。これは、**Storage Automated Diagnostic Environment** が以前のパスワードを使用して構成内のすべてのアレイへの接続を試みるためです。当然、パスワード変更対象のストレージアレイ以外のアレイでは、このログインは失敗します。**Sun StorEdge 6320** システムの他のアレイへのログインに失敗しますが、**Storage Automated Diagnostic Environment** は構成内のすべてのアレイに対してパスワードの変更処理を繰り返し、指定された古いパスワードを持つアレイのパスワードの変更を行います。パスワードを変更したら、そのことを管理ソフトウェアに伝える必要があります。

「管理」 → 「サービス」 → 「デバイスの構成」 ページに移動してください。

各言語対応版のオンラインヘルプの制限事項

- **バグ 4842713 (P3/S3):** 各言語対応版のオンラインヘルプの検索機能が正しく機能しない。ASCII 文字以外のキーワードを使用した場合は検索ができません。キーワードが英語の場合は、検索結果は英語で表示されます。その内容は各言語に対応しています。

バグ 4866283 (P4/S5): 各言語対応版のオンラインヘルプの索引が適切に機能しない。たとえば、日本語と簡体字中国語環境では、索引のタブに必要な英字が表示されます。

関連マニュアル

表 6 は、**Sun StorEdge 6320** システムおよび関連製品のマニュアルの一覧です。これらのマニュアルは以下からオンラインで入手できます。

<http://www.sun.com/documentation>

参考 – ダウンロードするファイルにカーソルを置き、Shift キーを押しながらマウスの左ボタンを押すと、自分のホームディレクトリに PDF ファイルをダウンロードできます。

Sun StorEdge 6320 シリーズ関連のマニュアルは、以下から入手することもできます。

<http://docs.sun.com>

表 6 Sun StorEdge 6320 システムおよび関連マニュアル

| Part No. | タイトル |
|---------------------|---|
| 817-2234-10 | Sun StorEdge 6320 システム 1.0 設置マニュアル |
| 817-2239-10 | Sun StorEdge 6320 システム 1.0 リファレンスおよびサービスマニュアル |
| 817-2244-10 | Sun StorEdge 6320 システム 1.0 サイト計画の手引き |
| 816-7876-10 | Sun StorEdge 6320 System 1.0 Regulatory and Compliance Guide |
| 817-2229-10 | Sun StorEdge 6320 システム 1.0 導入の手引き |
| 817-2203-10 | Sun StorEdge 6020 および 6120 アレイ導入の手引き |
| 817-2223-10 | Sun StorEdge 6120 アレイご使用にあたって |
| 817-2218-10 | Sun StorEdge 6120 アレイサイト計画の手引き |
| 817-0961-10 | Sun StorEdge 6120 Array Regulatory and Safety Compliance Manual |
| 817-0199-10 | Sun StorEdge 6120 アレイ設置マニュアル |
| 817-2213-10 | Sun StorEdge 6020 および 6120 アレイシステムマニュアル |
| 817-0822- <i>nn</i> | Storage Automated Diagnostic Environment 2.2 User's Guide -- Device Edition |
| 817-0823- <i>nn</i> | Storage Automated Diagnostic Environment 2.2 Device Edition Release Notes |
| 817-1246- <i>nn</i> | Sun StorEdge SAN Foundation 4.2 Release Notes |
| 805-3067- <i>nn</i> | Sun StorEdge Expansion Cabinet Installation and Service Manual |

Sun StorEdge 6320 システムの用語

現在、Storage Networking Industry Association (SNIA) は標準用語を作成しています。この標準用語がすべての記憶装置メーカーに完全採用されると、すべてのベンダー共通の用語で業務を行うことになるため、ユーザーにもこの用語の標準化のメリットが得られます。

サンは、SNIA 用語の採用に動きつつあります。Sun StorEdge 6320 システムは、新しい SNIA 用語を初めて採用する記憶装置製品です。

表 7 は、Sun StorEdge 6020 アレイの用語と Sun StorEdge 6320 システムで使用されている用語との比較 (対応) 表です。

表 7 Sun StorEdge 6320 用語

| Sun StorEdge 6020 用語 ¹ | Sun StorEdge 6320 アレイ用語 |
|-----------------------------------|-------------------------|
| ボリューム | ストレージプール |
| スライス | ボリューム |
| LUN | ボリューム |
| 管理ドメイン | ストレージアレイ |
| パートナーグループ | ストレージアレイ |
| アレイ | トレイ |
| 格納装置 | トレイ |
| 拡張ユニット | 拡張ユニット |

1 - これは、Sun StorEdge 6020 および 6120 アレイの Telnet ベースで使用されている用語です。

サービスに関する問い合わせ先

この製品の設置または使用に関するサポートが必要な場合は、次のサイトをご覧ください。

<http://www.sun.com/service/contacting>